

科目ナンバリング		U-LAS04 20037 SJ45							
授業科目名 <英訳>		社会学基礎ゼミナールII Introductory Seminar on Sociology II				担当者所属 職名・氏名		地球環境学舎 准教授 朴 沙羅	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
この授業では社会学のジャーナルに掲載された日本語で（受講者の希望に応じて英語でも）執筆された学術論文を読みます。 大学の課程を修了するためには、それぞれの課程で定められた論文を執筆することが必要です。そして、論文を書くためには論文を読み、適切に引用することが不可欠です。学術論文はさまざまな「読むもの」の中では読みやすいものに属します。しかし、著者の問い・問いの意味・データ・分析・結論を、読者である自分の読みたいようではなく、著者が意図した通りに読むためには、それなりの練習が必要です（人にもよります）。 そのため、この授業ではまず「読む」作業自体を分析し、前半で1本の論文をみんなで読みます。後半は各自が選んだ論文を紹介し議論します。									
[到達目標]									
・学術論文に多くみられる形式を、論文を知らない人に説明できるようになる ・社会学の学術論文で多く用いられる概念や用語を調べられるようになる ・世の中に存在する複数の読み方を、場合に応じて意識して使い分けられるようになる ・データに基づいた議論ができるようになる									
[授業計画と内容]									
基本的に以下の計画に従って授業を進める。ただし、受講者の状況などに応じて、内容を変更する可能性がある。 第1回 ガイダンス、受講者各人の発表日程の決定。 第2回～4回 毎回1本ずつ論文を読み、構成や議論の組み立て方を分析する 第5回～第12回 毎回1名が発表する。発表では各自が興味のある論文を1本選び、その論文の内容に関して、「問題意識」「問い」「先行研究」「データ・方法」「分析・考察」「結論」などの項目を立てたレジュメを作成し、そのレジュメに沿って口頭発表する。そのあと、出席者全体で発展的議論を行う。 第13回 予備日 第14回 まとめの討論 第15回 フィードバック（詳細は授業中に説明）									
[履修要件]									
特になし									

社会学基礎ゼミナールII(2)へ続く↓↓↓

社会学基礎ゼミナールII(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点によって評価します。具体的には以下の通りです。

- ・ 第2～4回の課題提出：毎回10点＝合計30点
- ・ 自分の発表（1回）：35点
- ・ 第5～12回の報告へのコメント：自分の報告した日以外の7回分について毎回5点＝合計35点

[教科書]

授業中に指示する

第2～4回で読む論文はこちらで用意します。第5回以降は、教員が指定したジャーナルから各自が読みたいものを選んでください。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

第2回～4回は指定された論文について課題を設定しますので、LMSで提出してください。第5回～12回は各自の論文について報告できるようレジュメを作成してください。授業外学修の時間は（人によりますが、45分くらい集中力を保てる人なら）2時間程度です。

[その他（オフィスアワー等）]

履修人数を発表スケジュールに適した人数（8名）に制限します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部